

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第5区分
【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公表番号】特表2007-534531(P2007-534531A)
【公表日】平成19年11月29日(2007.11.29)
【年通号数】公開・登録公報2007-046
【出願番号】特願2006-520270(P2006-520270)
【国際特許分類】

B 6 0 B 9/28 (2006.01)

【F I】
B 6 0 B 9/28

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月13日(2007.7.13)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

ハブと、このハブの放射方向外側に配置されたコンプライアントバンドと、ハブおよびコンプライアントバンドの間に延び且つこれらに結合された複数の張力伝達要素とを有し、この張力伝達要素はハブとリングとの間で張力を伝達し且つ圧縮力は実質的に伝達せず、コンプライアントバンドのピークツーピーク放射方向変位に対するコンプライアントバンドの公称半径の比が約1500以上であることを特徴とするコンプライアントホイール。

【請求項2】

コンプライアントバンド中に補強ブライが埋め込まれている請求項1に記載のコンプライアントホイール。

【請求項3】

上記補強ブライがエラストマーの被覆層中に埋め込まれた実質的に伸びないコード補強材の少なくとも一つの層から成り、上記エラストマーの被覆層はコンプライアントバンドの弾性剪断モジュラスに少なくとも等しい弾性剪断モジュラスを有する請求項2に記載のコンプライアントホイール。

【請求項4】

上記補強ブライがコンプライアントバンドのほぼ中立軸線の所に位置している請求項2に記載のコンプライアントホイール。

【請求項5】

補強ブライがコンプライアントバンドの中立軸線の放射方向内側に位置している請求項2に記載のコンプライアントホイール。

【請求項6】

コンプライアントバンドの放射方向外側に形成されたトレッドをさらに有する請求項1に記載のコンプライアントホイール。

【請求項7】

コンプライアントバンドが約9MPa～約60MPaの弾性モジュラスを有するエラストマー材料で作られた請求項1に記載のコンプライアントホイール。

【請求項8】

張力伝達要素がコンプライアントバンドに対して横断方向に延びたウェブスポークから成る請求項1に記載のコンプライアントホイール。

【請求項 9】

ウェブスポークが互いに軸線方向に平行な方向を向いている請求項 8 に記載のコンプライアントバンド。

【請求項 10】

各ウェブスポークが軸線方向に対して斜めの方向を向いている請求項 8 に記載のコンプライアントホイール。

【請求項 11】

互いに隣接するウェブスポークが軸線方向に対して互いに反対方向に斜めの角度を成している請求項 10 に記載のコンプライアントホイール。

【請求項 12】

互いに隣接するウェブスポークが放射方向に対して互いに反対方向に斜めの角度を成し、赤道面でジグザグを形成する請求項 8 に記載のコンプライアントホイール。

【請求項 13】

複数のウェブスポークが 2 本ずつ交差し、赤道面で X を繰返すパターンで配置されている請求項 8 に記載のコンプライアントホイール。

【請求項 14】

ウェブスポークが放射方向に圧縮された時に容易に湾曲できるような曲率を赤道面内に有する請求項 8 に記載のコンプライアントホイール。

【請求項 15】

第 1 の複数のウェブスポークが軸線方向に対して平行な方向を向き、第 2 の複数のウェブスポークが軸線方向に対して直角な方向を向いている請求項 8 に記載のコンプライアントホイール。

【請求項 16】

各ウェブスポークの厚さがコンプライアントホイールの半径の約 5 % 以下である請求項 8 に記載のコンプライアントホイール。

【請求項 17】

ウェブスポークが約 9 MPa ~ 約 60 MPa の弾性 モジュラス を有するエラストマー材料から成る請求項 8 に記載のコンプライアントホイール。

【請求項 18】

コンプライアントバンドと複数のウェブスポークとが単一材料から成る一体成形ユニットである請求項 8 に記載のコンプライアントホイール。

【請求項 19】

ハブと、このハブの放射方向外側に配置されたエラストマー材料から成るコンプライアントバンドと、このコンプライアントバンド中に埋め込まれた補強プライと、コンプライアントバンドとハブとの間に配置された複数の可撓性ウェブスポークとから成るコンプライアントホイールであって、コンプライアントバンドと複数のウェブスポークとが単一材料から成る一体成形ユニットであり、コンプライアントバンドの公称半径とコンプライアントバンドのピークツーピーク放射方向変位量との比が約 1500 以上であることを特徴とするコンプライアントバンド。